キイトルーダ®と化学療法の
併用療法を
受けられる患者さんへ

DIARY
&
MEMO

手術による治療が難しい、または再発した トリプルネガティブのPD-L1陽性乳がんで、キイトルーダ®による治療を受けられる患者さんへ

キイトルーダ®治療日誌

監修：名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床研究戦略部
先端医療・臨床研究開発学分野 特任教授 岩田 広治 先生

[あなたが受ける治療]

✓を入れてください

☐ キイトルーダ® ＋ ゲムシタビン ＋ カルボプラチン P20

☐ キイトルーダ® ＋ パクリタキセル P24

☐ キイトルーダ® ＋ パクリタキセル（アルブミン懸濁型） P28

もくじ

- キイトルーダ®の治療を受ける方へ 5
- がん細胞と薬物治療について 6
- キイトルーダ®と化学療法による治療を受ける前に 10
- キイトルーダ®と化学療法の併用療法の注意点 12
- 体調がすぐれないと感じたとき 18
- 各併用療法の治療スケジュール
  - キイトルーダ®とゲムシタビン+カルボプラチン 20
  - キイトルーダ®とパクリタキセル 24
  - キイトルーダ®とパクリタキセル（アルブミン懸濁型） 28
- 治療日記 32
- メモ 46
- 通院日メモ 54
- 連絡先メモ 55

キイトルーダ®と化学療法の併用療法を順調に進めていくためには、お薬による副作用を正しく知っておくことがとても大切です。

この冊子では、キイトルーダ®と化学療法の併用療法を受けられる方に適切に治療に臨んでいただくために、それぞれの治療スケジュール、また副作用や治療中の生活で注意していただきたいことを紹介しています。

この冊子に体調の変化などを記入していただくことで、副作用を早く見つけること、早く対処することに役立ちます。
不安に思うこと、わからないことがありましたら、医師、看護師、薬剤師にご相談ください。

監修：名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床研究戦略部
先端医療・臨床研究開発学分野 特任教授 岩田 広治 先生



キイトルーダ®の治療を受ける方へ

手術による治療が難しい、または再発したトリプルネガティブ乳がんのPD-L1陽性の患者さんは、キイトルーダ®による治療の対象となります。
キイトルーダ®は免疫チェックポイント阻害薬という種類のお薬です。
トリプルネガティブ乳がんにおいて、キイトルーダ®はPD-L1と呼ばれるたんぱく質を一定量発現している患者さんに効きやすいことがわかっています。

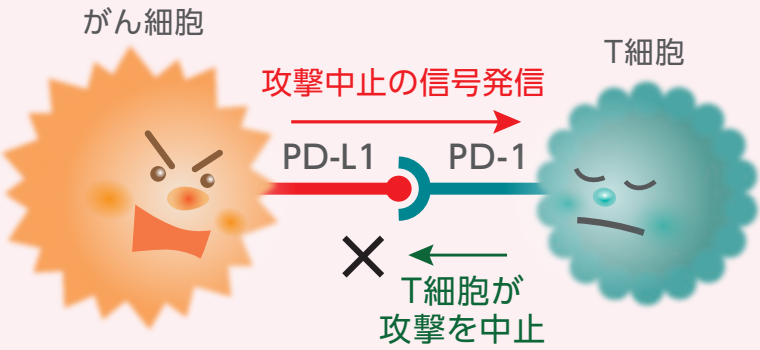
		ホルモン受容体 （①エストロゲン受容体 ②プロゲステロン受容体）		
		陽性		陰性
③HER2	陰性	ルミナルAタイプ （増殖能力が低い）	ルミナルBタイプ （増殖能力が高い）	トリプル ネガティブ PD-L1 陽性
	陽性	ルミナル・HER2タイプ		HER2タイプ

トリプルネガティブ乳がんとは、がん細胞に、ホルモン受容体である①エストロゲン受容体と②プロゲステロン受容体、そして③HER2（ハーツー）たんぱく質の3つ（トリプル）がいずれも発現していないタイプの乳がんのことをいいます。

がん細胞と薬物治療について①

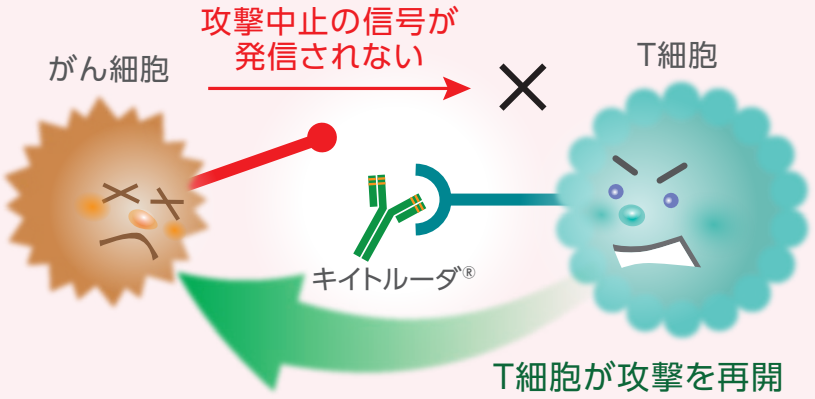
● がんが免疫機能にブレーキをかける仕組み

ウイルスや細菌などの異物に対する防御反応である免疫は、がん細胞に対してもはたらきかけます。最近、がん細胞は自身が増殖するために、免疫の一員であるT細胞に攻撃のブレーキをかける信号を送ることがわかってきました。つまり、がん細胞は免疫の機能にブレーキをかける仕組みを使って、T細胞の攻撃から逃れているのです。
ブレーキをかける信号は、がん細胞表面にあるPD-L1（ピーディーエルワン）というたんぱく質がT細胞表面のPD-1（ピーディーワン）というたんぱく質と結合することにより発信されます。



キイトルーダ®のはたらきについて

キイトルーダ®は「抗PD-1抗体」とよばれる免疫チェックポイント阻害薬で、T細胞のPD-1に結合することにより、がん細胞からT細胞に送られているブレーキをかける信号を遮断します。その結果、T細胞が活性化され、抗がん作用が発揮されると考えられています。
キイトルーダ®は、PD-L1ががん細胞やそのまわりの免疫細胞（リンパ球、マクロファージ）に一定量以上あると効果が出やすいことがわかっています。そのため、あなたのがん細胞や免疫細胞がPD-L1をどれくらい持っているかを確認するため、PD-L1検査を行います。



がん細胞と薬物治療について②

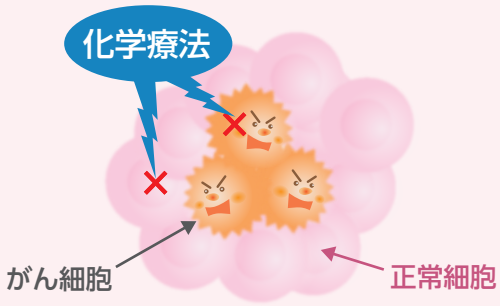
● がん細胞の増殖について

正常な細胞は、際限なく増殖することがないようにコントロールされていますが、なんらかの原因によりその遺伝子に変化（遺伝子変異）が起こると、細胞は異常な分裂と増殖を繰り返すようになります。
このような細胞をがん細胞といいます。



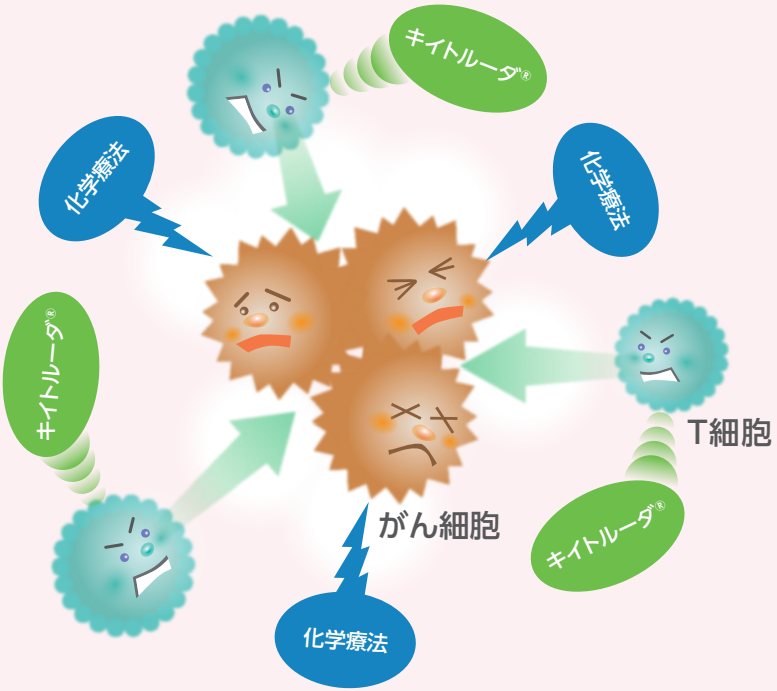
● 化学療法について

殺細胞性抗がん薬による治療を化学療法といいます。化学療法は、活発に分裂しているがん細胞の増殖を阻止したりすることで、がん細胞を死滅させる治療です。
化学療法は、がん細胞も正常細胞も攻撃します。



キイトルーダ®と化学療法の併用療法について

キイトルーダ®と化学療法の併用療法では、がん細胞に対するT細胞の攻撃を強めるキイトルーダ®と、がん細胞を直接攻撃する化学療法を組み合わせて治療します。異なる作用の薬を使ってがん細胞を攻撃するため、双方の治療効果が期待できます。

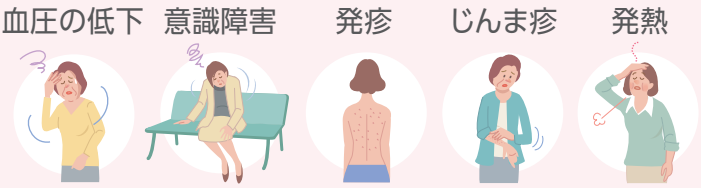


キイトルーダ®と化学療法による治療を受ける前に

■ キイトルーダ®は、がんの治療に使われるお薬です。
■ あなたの体の状態によっては、キイトルーダ®の治療が受けられないことがあります。

● キイトルーダ®に含まれている成分と同じ成分に対して、過敏症症状を起こしたことがある場合

過敏症症状の例



■ キイトルーダ®による治療を始める前に、以下の項目に該当する方は、必ず担当の医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

- ✓ 薬や食べ物にアレルギーがある
- ✓ 自己免疫疾患*に現在かかっているか、過去に自己免疫疾患にかかったことがある
- ✓ 間質性肺疾患**にかかっている、または以前にかかったことがある
- ✓ 現在、使用している薬がある
- ✓ 臓器移植または造血幹細胞移植†をしたことがある
- ✓ 結核に感染している、または過去にかかったことがある
- ✓ 妊娠している、または妊娠している可能性がある‡

＊自己免疫疾患とは、本来自己には攻撃しないはずの免疫機能が、自分自身の身体や組織を攻撃してしまうことで生じる病態です。
例：膠原病（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎、皮膚筋炎など）、クローン病、潰瘍性大腸炎、バセドウ病、橋本病、1型糖尿病など。

＊＊「キイトルーダ®治療ハンドブック」をご参照ください。

† 病気になった造血幹細胞（赤血球、白血球、血小板をつくり出す細胞）を健康な造血幹細胞と入れ替え、正常な血液をつくることができるようにする治療です。

‡ 胎児への影響や流産が起きる可能性があります。なお、キイトルーダ®による治療中にわかった場合も、必ず担当の医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

化学療法の注意点

■ あなたの体の状態によっては、化学療法による併用療法を受けられないことがあります。

- **あなたが行う化学療法（ゲムシタビンとカルボプラチン、パクリタキセルまたはパクリタキセル［アルブミン懸濁型］）に含まれている成分と同じ成分に対して、過敏症症状を起こしたことがある場合**

［過敏症症状の例は左ページを参照ください］

■ 併用療法を始める前に、以下の項目に該当する方は、必ず担当の医師や看護師、薬剤師にお伝えください。

- ✓ 骨髄抑制、腎障害、感染症がある
- ✓ 肝障害、アルコール依存症がある、または以前にかかったことがある、アルコールに過敏である
- ✓ 水痘（みずぼうそう）がある
- ✓ 間質性肺炎や肺線維症がある、または以前にかかったことがある
- ✓ 心筋梗塞にかかったことがある

キイトルーダ®と化学療法の併用療法の注意点①

● 点滴中の注意点（点滴中に起こる可能性のある副作用）

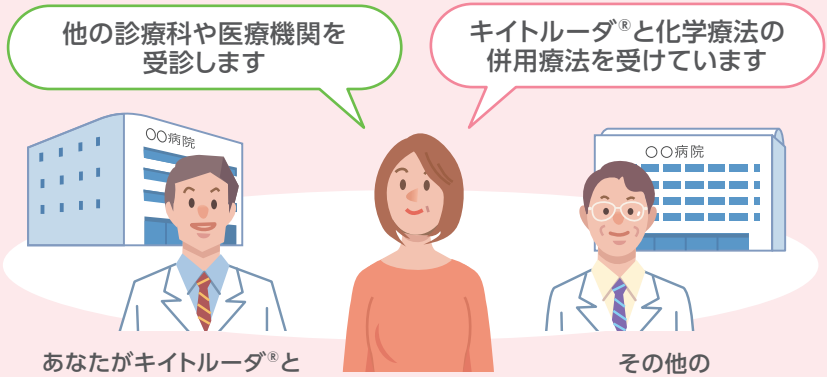
点滴中や点滴直後にアレルギーのような症状があらわれる「点滴時の過敏症反応（infusion reaction）」が起こることがあります。
点滴中あるいは点滴後に下記のような症状があらわれた場合には、担当の医師または看護師、薬剤師に連絡してください。

- ☑ 皮膚のかゆみ
- ☑ じんま疹
- ☑ 声がかすれる
- ☑ くしゃみが出る
- ☑ 喉のかゆみ
- ☑ 息苦しい
- ☑ 胸がどきどきする
- ☑ 意識がうすれる
- ☑ めまい・ふらつき
- ☑ 血圧の低下

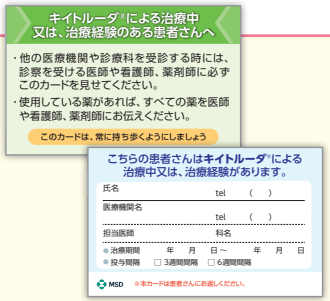
※点滴終了後、1～2時間後に症状があらわれる場合があるので注意してください。

● 治療中、他の医療機関を受診する場合の注意点

治療を始めてから、他の医療機関を受診する場合には、あなたがキイトルーダ®と化学療法の併用療法を受けている主治医に相談しましょう。
なお、相談し忘れてしまった場合でも、きちんと報告することが大切です。
また、他の医療機関を受診したら、受診先の医療スタッフにもキイトルーダ®の治療を受けていることを知らせてください。



他の診療科や医療機関を受診する時には、必ずキイトルーダ®の治療中又は、治療経験があることを知らせてください。
キイトルーダ®連絡携帯カードを財布などに入れて常に持ち歩き、診察券と一緒に提示しましょう。



キイトルーダ®と化学療法の併用療法の注意点②

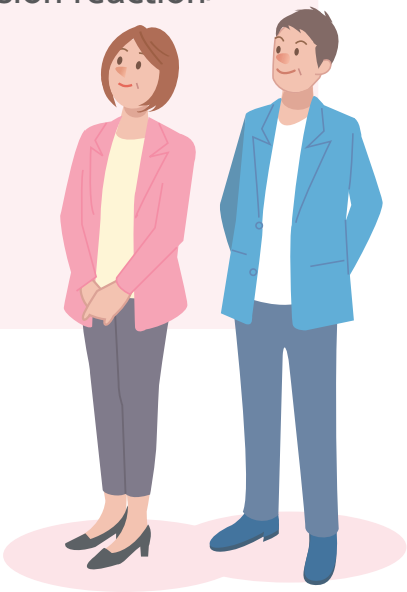
● キイトルーダ®の特に注意すべき副作用

キイトルーダ®は、がん細胞によって抑えられていた免疫機能を再び活性化させるため、免疫がはたらき過ぎることによる副作用があらわれる可能性があります。
症状のあらわれ方には個人差がありますが、あらかじめ副作用の種類や症状を知っておくことは、副作用の早期発見と対処につながります。
適切に治療を続けていくために、次に挙げるキイトルーダ®の注意すべき副作用と症状をしっかりと確認しておきましょう。



キイトルーダ®の特に注意すべき副作用

- 間質性肺疾患
- 大腸炎・小腸炎・重度の下痢
- 重度の皮膚障害
- 神経障害
  - ギラン・バレー症候群等
- 劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎
- 内分泌障害
  - 甲状腺機能障害
  - 下垂体機能障害
  - 副腎機能障害
- 1型糖尿病
- 腎機能障害
- 膵炎・膵外分泌機能不全
- 筋炎・横紋筋融解症
- 重症筋無力症
- 心筋炎
- 脳炎・髄膜炎・脊髄炎
- 重篤な血液障害
  - 免疫性血小板減少症
  - 溶血性貧血
  - 赤芽球癆
  - 無顆粒球症
- 重度の胃炎
- ぶどう膜炎
- 血管炎
- 血球貪食症候群
- 結核
- 点滴時の過敏症反応（インフュージョン リアクション）（infusion reaction）



キイトルーダ®と化学療法の併用療法の注意点③

まとめ

キイトルーダ®の副作用として予測される症状

頭痛	脳炎・髄膜炎、溶血性貧血、赤芽球癆など
意識がうすれる	1型糖尿病、脳炎・髄膜炎など

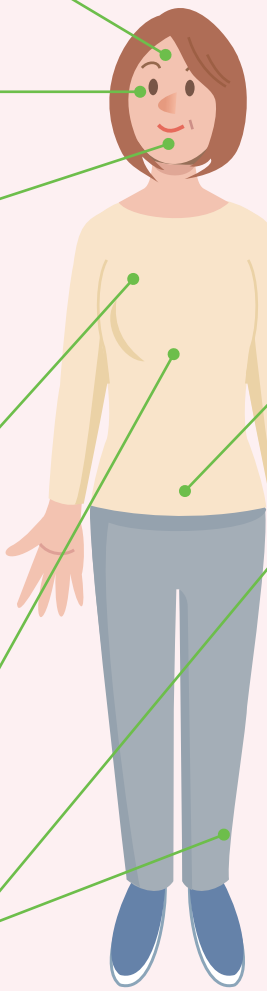
見え方の異常	ぶどう膜炎
まぶたが重い・顔の筋肉が動きにくくなる	重症筋無力症
ものが二重に見える	重症筋無力症

口の中や喉が渇きやすい・多飲	1型糖尿病
歯ぐきや口内の出血	免疫性血小板減少症、血球貪食症候群
くしゃみ	点滴時の過敏症反応
くちびるのただれ	重度の皮膚障害

咳	間質性肺疾患、結核
たん・血たん	結核、血管炎
息切れ・呼吸困難	間質性肺疾患、ギラン・バレー症候群、重症筋無力症、点滴時の過敏症反応、心筋炎、溶血性貧血、赤芽球癆など
胸の痛み	心筋炎

吐き気やおう吐	大腸炎・小腸炎、副腎機能障害、脳炎・髄膜炎、1型糖尿病、重度の胃炎など
食欲不振	劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎、下垂体機能障害、副腎機能障害、重度の胃炎など

手足に力が入らない	ギラン・バレー症候群、筋炎・横紋筋融解症、重症筋無力症、脊髄炎、血管炎
手指のふるえ	甲状腺機能障害など



下痢	大腸炎・小腸炎など
ネバネバした便・血便	大腸炎・小腸炎、血管炎
油が浮いたり、すっぱいにおいのする柔らかい便が出る	膵外分泌機能不全
便秘	甲状腺機能障害、副腎機能障害、脊髄炎
腹痛	大腸炎・小腸炎、膵炎、1型糖尿病、硬化性胆管炎、血管炎
お腹が張る	劇症肝炎・肝不全、膵外分泌機能不全など
トイレが近い	1型糖尿病
血尿	腎機能障害、免疫性血小板減少症、血管炎
尿量の減少・尿が出にくい	腎機能障害、脊髄炎

全身

発熱	間質性肺疾患、大腸炎・小腸炎、腎機能障害、重度の皮膚障害、脳炎・髄膜炎、無顆粒球症、血球貪食症候群、結核など
疲れやすい・だるい	大腸炎・小腸炎、劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎、甲状腺機能障害、副腎機能障害、結核など
黄疸	劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎、膵炎、溶血性貧血
発疹などの皮膚症状	点滴時の過敏症反応、重度の皮膚障害、硬化性胆管炎、血球貪食症候群など
点状や斑状のあおあざ	免疫性血小板減少症、血管炎
血圧の左右差	血管炎
体重の減少	副腎機能障害、1型糖尿病、結核など
体重の増加	甲状腺機能障害
むくみ	腎機能障害、心筋炎
けいれん	脳炎・髄膜炎、血球貪食症候群
しびれ	ギラン・バレー症候群、血管炎

記載の症状やその他気になる体調の変化がある場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連絡ください



体調がすぐれないと感じたとき

がんの治療中は、がんそのものの影響や、薬の副作用などによって、体の不調を感じることがあります。つらい症状に適切に対処することは、治療を続けるために大切なことです。下記に日常生活のポイントを紹介します。



● 吐き気や食欲がないとき

食事や水分がとれないと、
脱水になりやすいので注意が必要です。

- こまめに水分をとるようにしましょう。
- 体力を落とさないためにも、食べられる物や好きな物から少しずつ食べるようにしましょう。
- 吐き気が強いときは、刺激やにおいの強いものを避けましょう。



● 疲れやだるさを感じるとき

治療中には、薬の副作用以外にも、不安やストレスなどの影響によって、疲れやだるさを感じることもあります。

- 規則正しい生活を心がけ、活動と睡眠の時間をバランスよくとりましょう。
- 自分が楽しいと感じる運動や趣味等を適度に取り入れ気分の転換をはかってみてはどうでしょうか。
- 一日ゆっくり休むなど、体調に合わせて過ごしてみましょう。



それでも体調が悪いと感じるとき

強い疲れやだるさを感じるときは、無理をしないことと、すぐに担当の医師に相談することが大切です。

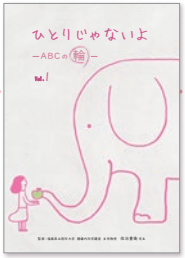


- 気になる症状がある場合には、必ず診察時に担当の医師に伝えるようにしましょう。
- 体調が悪い状態が続く場合には、すぐに担当の医師に相談するようにしましょう。



キイトルーダ®による治療で、特に注意すべき副作用と症状については「キイトルーダ®治療ハンドブック」や各薬剤の解説冊子などでもう一度確認し、気になる症状が出たら、速やかに医師に連絡しましょう。



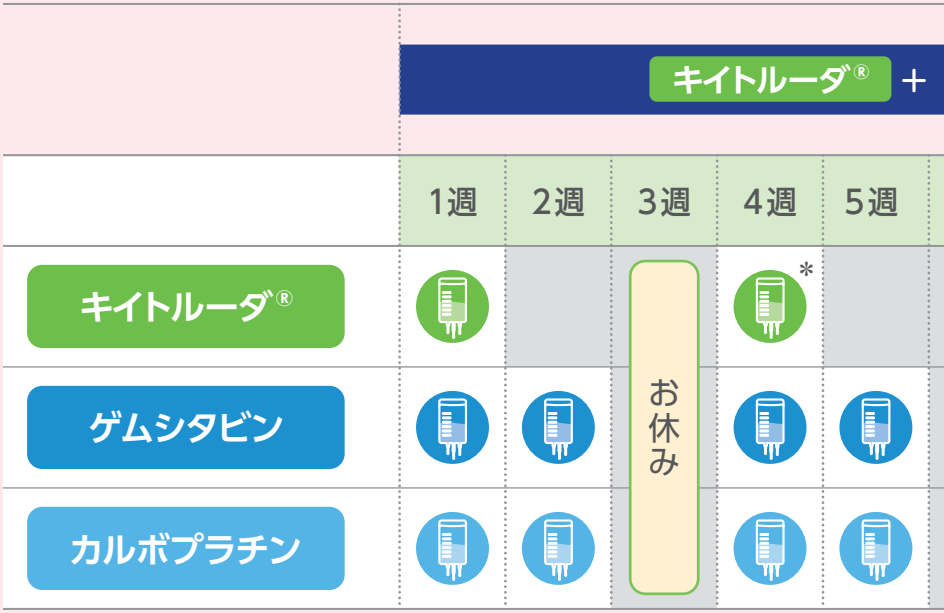


気持ちのこと、からだのこと、くらしのこと、コミュニケーション、同じ経験をした仲間からのメッセージ、ケアギバーの方への情報を「ひとりじゃないよ-ABCの輪-」でご覧いただけます。

キイトルーダ®とゲムシタビン+カルボプラチン①

治療スケジュール

キイトルーダ®は200mgを3週に1回投与、または400mgを6週に
ゲムシタビンおよびカルボプラチンは1週目、2週目に投与、3週目は



＊6週間ごとに1回、キイトルーダ®(400mg)を投与する場合、投与なし

ゲムシタビン、カルボプラチンとは

ゲムシタビンは、がん細胞が増殖するためのDNA合成を阻害する作用により、がん細胞を死滅させます。

カルボプラチンは、がん細胞が増殖するためのDNA合成を阻害する作用により、がん細胞を死滅させます。

ご自身の点滴のスケジュールを確認しておきましょう。

1回投与、
休薬します。

ゲムシタビン ＋ カルボプラチン

6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週以降
お休み			お休み	*		お休み	1〜12週目の繰り返し

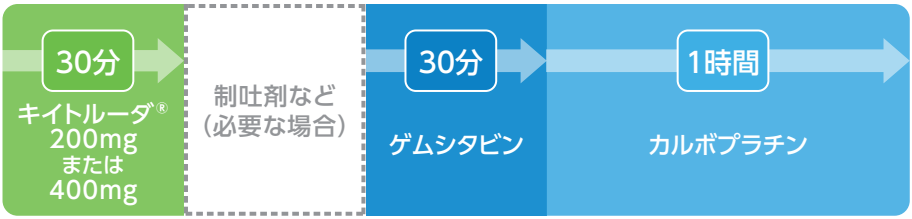


キイトルーダ®とゲムシタビン+カルボプラチン②

点滴のタイムスケジュール（例）※

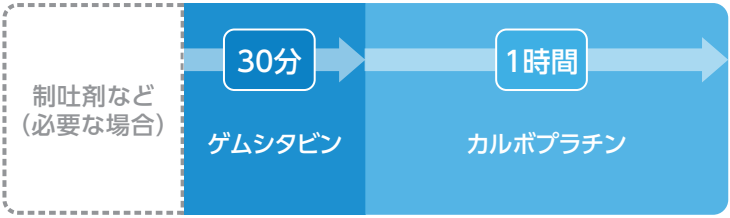
【キイトルーダ®とゲムシタビン、カルボプラチンを投与する日】

キイトルーダ®200mgまたは400mgを約30分かけて静脈内へ点滴します。その後、ゲムシタビンとカルボプラチンを投与します。



【ゲムシタビンとカルボプラチンのみを投与する日】

ゲムシタビンとカルボプラチンを投与します。



※臨床試験のタイムスケジュールをもとに記載しています。医療機関によって異なる場合がありますので、主治医の指示に従ってください。

ゲムシタビン、カルボプラチンの注意すべき副作用

化学療法は、がん細胞だけでなく、正常細胞も攻撃してしまうため、副作用があらわれる可能性があります。化学療法の注意すべき副作用と症状を確認しておきましょう。

- 骨髄抑制＊
  （発熱、貧血、出血傾向など）
- 間質性肺炎
  （息切れ、乾いた咳、発熱など）
- 過敏症及びショック
  （呼吸困難、血圧低下など）
- 消化器障害
  （食欲不振、吐き気・嘔吐、下痢、便秘、口内炎など）
- 倦怠感
- 発疹
- 発熱
- 脱毛
- 末梢神経障害
  （手足のしびれなど）

ゲムシタビン電子添文、カルボプラチン電子添文より

＊骨髄抑制とは、血液中の白血球や赤血球、好中球などが減少した状態です。

キイトルーダ®とパクリタキセル①

治療スケジュール

キイトルーダ®は200mgを3週に1回投与、または400mgを6週に
パクリタキセルは1週目、2週目、3週目に投与、4週目は休薬します。



＊6週間ごとに1回、キイトルーダ®（400mg）を投与する場合、投与なし

パクリタキセルとは

パクリタキセルは、がん細胞の細胞分裂を阻害し、がん細胞の増殖を抑えます。

ご自身の点滴のスケジュールを確認しておきましょう。

1回投与、





キイトルーダ®とパクリタキセル②

点滴のタイムスケジュール（例）※

【キイトルーダ®とパクリタキセルを投与する日】

キイトルーダ®200mgまたは400mgを約30分かけて静脈内へ点滴します。その後、パクリタキセルを投与します。



【キイトルーダ®のみを投与する日】

キイトルーダ®200mgまたは400mgを約30分かけて静脈内へ点滴します。



【パクリタキセルのみを投与する日】

パクリタキセルを投与します。



※臨床試験のタイムスケジュールをもとに記載しています。医療機関によって異なる場合がありますので、主治医の指示に従ってください。

パクリタキセルの注意すべき副作用

化学療法は、がん細胞だけでなく、正常細胞も攻撃してしまうため、副作用があらわれる可能性があります。化学療法の注意すべき副作用と症状を確認しておきましょう。

- 過敏症及びショック
  (呼吸困難、胸痛、血圧低下、浮腫、潮紅、発汗など)
- 骨髄抑制*
  (発熱、貧血、出血傾向など)
- 末梢神経障害
  (手足のしびれなど)
- 間質性肺炎
  (息切れ、乾いた咳、発熱など)
- 脱毛
- 消化器障害
  (吐き気・嘔吐、口内炎、下痢など)
- 関節痛、筋肉痛

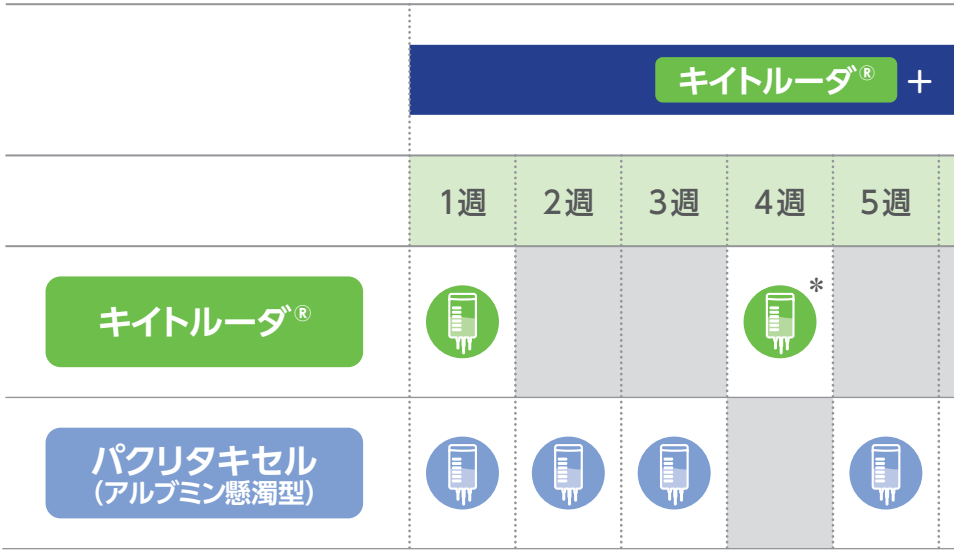
パクリタキセル電子添文より

*骨髄抑制とは、血液中の白血球や赤血球、好中球などが減少した状態です。

キイトルーダ®とパクリタキセル（アルブミン懸濁型）①

治療スケジュール

キイトルーダ®は200mgを3週に1回投与、または400mgを6週に
パクリタキセル（アルブミン懸濁型）は1週目、2週目、3週目に投与、4週目は



＊6週間ごとに1回、キイトルーダ®（400mg）を投与する場合、投与なし

パクリタキセル（アルブミン懸濁型）とは

パクリタキセル（アルブミン懸濁型）は、がん細胞の細胞分裂を阻害し、がん細胞の増殖を抑えます。

ご自身の点滴のスケジュールを確認しておきましょう。

1回投与、
休薬します。

パクリタキセル（アルブミン懸濁型）

6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週以降
		お休み		*		お休み	1～12週目の繰り返し



キイトルーダ®とパクリタキセル（アルブミン懸濁型）②

点滴のタイムスケジュール（例）※

【キイトルーダ®とパクリタキセル（アルブミン懸濁型）を投与する日】

キイトルーダ®200mgまたは400mgを約30分かけて静脈内へ点滴します。その後、パクリタキセル（アルブミン懸濁型）を投与します。



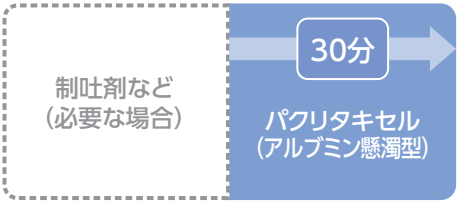
【キイトルーダ®のみを投与する日】

キイトルーダ®200mgまたは400mgを約30分かけて静脈内へ点滴します。



【パクリタキセル（アルブミン懸濁型）のみを投与する日】

パクリタキセル（アルブミン懸濁型）を投与します。



※臨床試験のタイムスケジュールをもとに記載しています。医療機関によって異なる場合がありますので、主治医の指示に従ってください。

パクリタキセル（アルブミン懸濁型）の注意すべき副作用

化学療法は、がん細胞だけでなく、正常細胞も攻撃してしまうため、副作用があらわれる可能性があります。化学療法の注意すべき副作用と症状を確認しておきましょう。

- 骨髄抑制＊
  （発熱、貧血、出血傾向など）
- 末梢神経障害
  （手足のしびれなど）
- 間質性肺疾患
  （息切れ、乾いた咳、発熱など）
- 消化器障害
  （吐き気・嘔吐、下痢など）
- 脱毛
- 関節痛、筋肉痛
- 黄斑浮腫

パクリタキセル（アルブミン懸濁型）電子添文より

＊骨髄抑制とは、血液中の白血球や赤血球、好中球などが減少した状態です。

治療日記・記入方法

日付(月/日)		(1)週			
		5/2	5/3	5/4	5/5
診 察		○			
キイトルーダ®点滴		○			
化学療法( )		○			
体 温(℃)		36.7	37.3	37.5	37.3
体 重(kg)		65.0			
頭部	頭痛	○			
眼	見え方の異常				
	まぶたが重い				
口や喉	咳、たん				
	吐き気やおう吐				
	口の中や喉が渇きやすい				
	歯ぐきや口内の出血				
	声のかすれ				
胸部	息切れ				
	胸の痛み				
腹部	腹痛				
	食欲不振				
便	下痢			○	
	便秘				
	ネバネバした便				
尿	トイレが近い、血尿、尿量の減少				
手・足	しびれ				
皮膚	発疹などの皮膚症状				
全身	疲れやすい、だるい				
	むくみ			○	○
その他、気になる体調の変化		(5/4)微熱があり、解熱剤を飲んだ。			

体温はしっかり記録しましょう
毎日なるべく同じ時間に
はかるようにしましょう

その他の症状は、P.16-17「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」を
気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

目			(2)週目						
5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15
36.8	36.5	36.5	36.7	36.8	36.4	36.5	36.8	36.8	36.8
			65.0						
				○					
					○	○			
					○	○	○		
									○
									○
			(5/11)手足がつめたく、寒気がする。 (5/12)息切れが強くなってきたので、先生に相談した。						

体重は定期的にはかりましょう

気になる症状や疑問点などがあれば書いておきましょう

ご確認ください。
絡ください。

日付(月/日)		( )週			
		/	/	/	/
診 察					
キイトルーダ®点滴					
化学療法( )					
体 温(℃)					
体 重(kg)					
頭部	頭痛				
眼	見え方の異常				
	まぶたが重い				
口や喉	咳、たん				
	吐き気やおう吐				
	口の中や喉が渇きやすい				
	歯ぐきや口内の出血				
	声のかすれ				
胸部	息切れ				
	胸の痛み				
腹部	腹痛				
	食欲不振				
便	下痢				
	便秘				
	ネバネバした便				
尿	トイレが近い、血尿、尿量の減少				
手・足	しびれ				
皮膚	発疹などの皮膚症状				
全身	疲れやすい、だるい				
	むくみ				
その他、気になる体調の変化					

その他の症状は、P.16-17「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」を
気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

目			（　　）週目						
／	／	／	／	／	／	／	／	／	／

ご確認ください。
絡ください。

日付(月/日)		( )週			
		/	/	/	/
診 察					
キイトルーダ®点滴					
化学療法( )					
体 温(℃)					
体 重(kg)					
頭部	頭痛				
眼	見え方の異常				
	まぶたが重い				
口や喉	咳、たん				
	吐き気やおう吐				
	口の中や喉が渇きやすい				
	歯ぐきや口内の出血				
	声のかすれ				
胸部	息切れ				
	胸の痛み				
腹部	腹痛				
	食欲不振				
便	下痢				
	便秘				
	ネバネバした便				
尿	トイレが近い、血尿、尿量の減少				
手・足	しびれ				
皮膚	発疹などの皮膚症状				
全身	疲れやすい、だるい				
	むくみ				
その他、気になる体調の変化					

その他の症状は、P.16-17「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」を
気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

目			(　　　)週目						
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

ご確認ください。
絡ください。

日付(月/日)		( )週			
		/	/	/	/
診 察					
キイトルーダ®点滴					
化学療法( )					
体 温(℃)					
体 重(kg)					
頭部	頭痛				
眼	見え方の異常				
	まぶたが重い				
口や喉	咳、たん				
	吐き気やおう吐				
	口の中や喉が渇きやすい				
	歯ぐきや口内の出血				
	声のかすれ				
胸部	息切れ				
	胸の痛み				
腹部	腹痛				
	食欲不振				
便	下痢				
	便秘				
	ネバネバした便				
尿	トイレが近い、血尿、尿量の減少				
手・足	しびれ				
皮膚	発疹などの皮膚症状				
全身	疲れやすい、だるい				
	むくみ				
その他、気になる体調の変化					

その他の症状は、P.16-17「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」を
気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

目			（　　　）週目						
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

ご確認ください。
絡ください。

日付(月/日)		( )週			
		/	/	/	/
診 察					
キイトルーダ®点滴					
化学療法( )					
体 温(℃)					
体 重(kg)					
頭部	頭痛				
眼	見え方の異常				
	まぶたが重い				
口や喉	咳、たん				
	吐き気やおう吐				
	口の中や喉が渇きやすい				
	歯ぐきや口内の出血				
	声のかすれ				
胸部	息切れ				
	胸の痛み				
腹部	腹痛				
	食欲不振				
便	下痢				
	便秘				
	ネバネバした便				
尿	トイレが近い、血尿、尿量の減少				
手・足	しびれ				
皮膚	発疹などの皮膚症状				
全身	疲れやすい、だるい				
	むくみ				
その他、気になる体調の変化					

その他の症状は、P.16-17「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」を
気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

目			(　　　)週目						
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

ご確認ください。
絡ください。

日付(月/日)		( )週			
		/	/	/	/
診 察					
キイトルーダ®点滴					
化学療法( )					
体 温(℃)					
体 重(kg)					
頭部	頭痛				
眼	見え方の異常				
	まぶたが重い				
口や喉	咳、たん				
	吐き気やおう吐				
	口の中や喉が渇きやすい				
	歯ぐきや口内の出血				
	声のかすれ				
胸部	息切れ				
	胸の痛み				
腹部	腹痛				
	食欲不振				
便	下痢				
	便秘				
	ネバネバした便				
尿	トイレが近い、血尿、尿量の減少				
手・足	しびれ				
皮膚	発疹などの皮膚症状				
全身	疲れやすい、だるい				
	むくみ				
その他、気になる体調の変化					

その他の症状は、P.16-17「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」を
気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

目			( )週目						
／	／	／	／	／	／	／	／	／	／

ご確認ください。
絡ください。

日付(月/日)		( )週			
		/	/	/	/
診 察					
キイトルーダ®点滴					
化学療法( )					
体 温(℃)					
体 重(kg)					
頭部	頭痛				
眼	見え方の異常				
	まぶたが重い				
口や喉	咳、たん				
	吐き気やおう吐				
	口の中や喉が渇きやすい				
	歯ぐきや口内の出血				
	声のかすれ				
胸部	息切れ				
	胸の痛み				
腹部	腹痛				
	食欲不振				
便	下痢				
	便秘				
	ネバネバした便				
尿	トイレが近い、血尿、尿量の減少				
手・足	しびれ				
皮膚	発疹などの皮膚症状				
全身	疲れやすい、だるい				
	むくみ				
その他、気になる体調の変化					

その他の症状は、P.16-17「キイトルーダ®の副作用として予測される症状」を
気になる体調の変化があらわれた場合は、すぐに医師や看護師、薬剤師にご連

無理に毎日書く必要はありません。負担にならないように記録しましょう。

目			( )週目						
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

ご確認ください。
絡ください。

メモ

次回受診時に医師や看護師、薬剤師に
質問したいことや伝えたいことをメモしておきましょう。

記入例

5月 21日（土）

質問したいこと・伝えたいこと

5月21日
吐き気が辛くて、食欲が
ありません。どうしたら
食べられるようになりますか？

その後の経過

無理をしないようにしたら
気分が楽になり、少しずつ
食べられるようになって
きました。

医療従事者からのアドバイスメモ

・つらいときは無理せず、
好きなものを好きなときに
少しずつ食べる
・こまめに水分をとる



月　　日（　　）

質問したいこと・伝えたいこと

その後の経過

医療従事者からのアドバイスメモ

月　　日（　　）

質問したいこと・伝えたいこと

その後の経過

医療従事者からのアドバイスメモ

メモ

月　　日（　　）

質問したいこと・伝えたいこと

その後の経過

医療従事者からのアドバイスメモ

月　　日（　　）

質問したいこと・伝えたいこと

その後の経過

医療従事者からのアドバイスメモ

月　　日（　　）

質問したいこと・伝えたいこと

その後の経過

医療従事者からのアドバイスメモ

月　　日（　　）

質問したいこと・伝えたいこと

その後の経過

医療従事者からのアドバイスメモ

メモ

月　　日（　　）

質問したいこと・伝えたいこと

その後の経過

医療従事者からのアドバイスメモ

月　　日（　　）

質問したいこと・伝えたいこと

その後の経過

医療従事者からのアドバイスメモ

月　　日（　　）

質問したいこと・伝えたいこと

その後の経過

医療従事者からのアドバイスメモ

月　　日（　　）

質問したいこと・伝えたいこと

その後の経過

医療従事者からのアドバイスメモ

メモ

月　　日（　　）

質問したいこと・伝えたいこと

その後の経過

医療従事者からのアドバイスメモ

月　　日（　　）

質問したいこと・伝えたいこと

その後の経過

医療従事者からのアドバイスメモ

月　　日（　　）

質問したいこと・伝えたいこと

その後の経過

医療従事者からのアドバイスメモ

月　　日（　　）

質問したいこと・伝えたいこと

その後の経過

医療従事者からのアドバイスメモ

通院日メモ

次回の通院日と受ける治療をチェックしておきましょう

該当する箇所に ✓ しましょう

通院日(月/日)	／	／	／	／	／	／
キイトルーダ®点滴	□	□	□	□	□	□
化学療法(　　)	□	□	□	□	□	□
診察のみ(お薬の投与なし)	□	□	□	□	□	□
メモ						

通院日(月/日)	／	／	／	／	／	／
キイトルーダ®点滴	□	□	□	□	□	□
化学療法(　　)	□	□	□	□	□	□
診察のみ(お薬の投与なし)	□	□	□	□	□	□
メモ						

通院日(月/日)	／	／	／	／	／	／
キイトルーダ®点滴	□	□	□	□	□	□
化学療法(　　)	□	□	□	□	□	□
診察のみ(お薬の投与なし)	□	□	□	□	□	□
メモ						

連絡先メモ

● 医療機関名

● 電話番号

● 担当医師名

● 緊急連絡先

DIARY & MEMO

2026年9月作成
KTB26PA0081